

風水害から命を守るために

いざというとき、 どう動く？



近年、台風や豪雨が多発し、風水害により多くの尊い命が犠牲になっています。風水害から命を守るために、いざというときに落ち着いて行動できるように、あらかじめ正しい知識を身につけておくことが大切です。

覚えておこう！

警戒レベルと避難のタイミング

「警戒レベル」は、災害発生の危険度が高くなるほど、数字が大きくなります。自分のいる地域が対象となった場合に適切な行動がとれるよう、内容を理解しておきましょう。

警戒レベル
1 早期注意情報

今後の雨量、
台風の進路などの
情報収集を始める



裏面も
Check!
情報収集の
方法

警戒レベル
2 洪水注意報・
大雨注意報など

災害が想定されて
いる区域や
避難先、避難経路を
ハザードマップで
確認



裏面も
Check!
風水害時の
避難先



令和2年4月改訂

警戒レベル
3 避難準備・
高齢者等避難開始

高齢者・要介護者
などは避難、
ほかの人は
避難準備



自宅が安全な方は、
無理に移動する必要はありません。

警戒レベル
4 ①避難勧告
②避難指示(緊急)

全員が
安全な場所へ
避難



警戒レベル
5 災害発生情報

命を守る
最善の行動



屋外への避難は危険です。建物の高い場所など少しでも安全な場所に避難してください。

避難するときは…

早めに、安全に



避難先に移動する

緊急時



少しでも高い場所へ

- ① 明るいうちに
- ② 公共交通機関が動いているうちに
- ③ 暴風雨になる前に



はねぴよん
©大田区

「マイ・タイムライン」を作成しよう

いざというときに落ち着いて行動するためには、「いつ」「誰が」「何をするのか」を、家族構成や生活環境に合わせてあらかじめ決めておくことが大切です。自分なりの防災行動を時系列に整理した「マイ・タイムライン」を作成し、逃げ遅れを防ぎましょう。



詳細は
コチラ